

○大堤地区に防災機能を整備するのはどうなのか。

○過去には向堀川が越水したこともあり、地域住民が逃げられる建物を整備できないか。

⇒ 災害時に関しては、災害の種類にもよるかと思いますが、まず水害に関しまして、本エリアは想定浸水深が 3.0～5.0m（盛土を考慮しても）となることから、避難指示が出た際には、直ちに浸水の心配のない三和地区などへ避難していただくエリアになります。そのため、避難所としての機能は難しいため、なんらかの理由により逃げ遅れた方が緊急的に逃げ込む緊急避難場所（さいごの逃げ込み施設）としての機能を持たせ垂直避難になるような場所と考えており、新公会堂にこの機能を持たせることを想定しています。地震に際しましても、同様に緊急避難場所としての機能を持たせ、新公会堂の駐車場等も活用することを想定しております。

○1,300 人規模の文化施設の稼働率は良くないのではないか。

⇒ 規模については、古河市の今後の人口推移や市民の皆様・文化団体・文化施設のプロモーターなどのご意見を踏まえて決定したところです。確かに文化施設については、全国的に稼働率は高くない施設ではありますが、隣接する商業施設と行き来できるような工夫を図るなど、ソフト面を充実させることで、稼働率をあげたいと考えております。

○通学路についてはどう残すのか。

⇒ 現在、国道 4 号歩道橋付近からの事業地北西側の道路が通学路として利用されております。民間事業者の計画にもよりますが、道路の付替えはあるかもしれませんが、少なくとも通学路としての機能は残し、より安全な形で通行できるよう民間事業者に求めてまいりたいと考えております。

○大堤交差点周辺は現在でも慢性的に渋滞している場所であり、特に新たに新設する西牛谷辺見線と国道 354 号との交差点の混雑は想定されるため立体にした方が良いのではないか。

⇒ 都市計画道路西牛谷辺見線については、開業時の令和 14 年度までの整備は暫定 2 車線になるかと思いますが、計画上は片側 2 車線での整備であり、国道 354 号の交差点については、開業時点（令和 14 年度）では平面での交差点となり、将来的には立体化することとしております。

○新公会堂を作るのであれば、駅から近い方が良いと思うが、歩いて行ける距離なのか。

⇒ 大堤地区は古河駅から直線で 1km と徒歩ではそれ以上となるため、駅からの交通手段として徒歩だけでなく、公共交通を事業地に引き込むことを想定しています。

○当初の開発区域から外れている箇所があるが理由は。

⇒ まず、当初から既に宅地化されている土地は事業地からは除いてあります。当初予定から一部事業地から除いている箇所はありますが、それは地権者の方との交渉の中で、既に利用している場所、今後の事業計画の予定がある場所については除外することとなりました。

○基本構想・基本計画での事業費は179億円、その後プロジェクト推進課に問い合わせたところ総事業費は235億円と回答があったが、現在はいくらになっているのか。

⇒ 基本構想・基本計画策定段階では、約179億円と試算し、現在は昨今の物価高騰を鑑み新たに試算をしている段階であり、現時点での事業費はお答えできる段階にはありません。235億円については、精査してHP公表時に回答いたします。

以下、今回の質疑要旨の掲載をもって回答いたします。

⇒ 235億円については、基本構想・基本計画策定段階において、従来の公共事業にて整備した場合の施設整備に係る概算事業費（約179億円）を試算した際に、15年間のランニングコスト（約37億円）、人件費（約1億円）、金利負担額（約18億円）も試算しており、これらを上乗せした額となります。

○商業施設の工事、新公会堂の工事、道路工事などが並行して実施されると、その間の交通渋滞が予想されるがどうか。

⇒ 各種工事が並行して実施されることで、周辺交通への影響も含め様々な周辺住民の皆さまへの一時的なご不便をおかけするかとと思いますが、工事を実施する民間事業者や県と連携を図りながら工事間の調整を行い影響を最小限に留めるよう進めたいと考えておりますのでご理解いただければと思います。

○説明会資料中の民間消費額の流出について、データが2020年だったが、コロナの影響などでこの年が特異な年であったのではないかと。経年比較してどうか。

⇒ 近年での数値は改善されてきておりますが、2018年のデータでは、5,379億円の消費額の内、2,437億円が地域外で消費されており、この数値は全国1,710位という順位でした。

○本事業は多くの市民の方が期待をしていますし、事業を着実に進めていただきたいことが前提として、周辺住民の要望としては国道4号と国道354号の渋滞対策として市の計画している道路計画を着実に進め、更に都市計画道路大堤横山線の整備を進めていただきたい。また、大堤排水路の整備についても、上流だけでなく、下流の農地を守るためにも着実に進めていただきたい。事業地に隣接する道路の整備を進めていただきたい。

⇒ 大堤地区の開発にあたっては、まずは、県と連携して都市計画道路西牛谷辺見線とその延伸道路を整備し、その他の周辺インフラの整備をしっかりと行うことが必要だと認識しております。市としては、周辺住民の皆様や市民の皆さまに作って良かったと思っていただけるものにならないと考えております。頂いたご意見を踏まえて今後事業を進めたいと考えております。